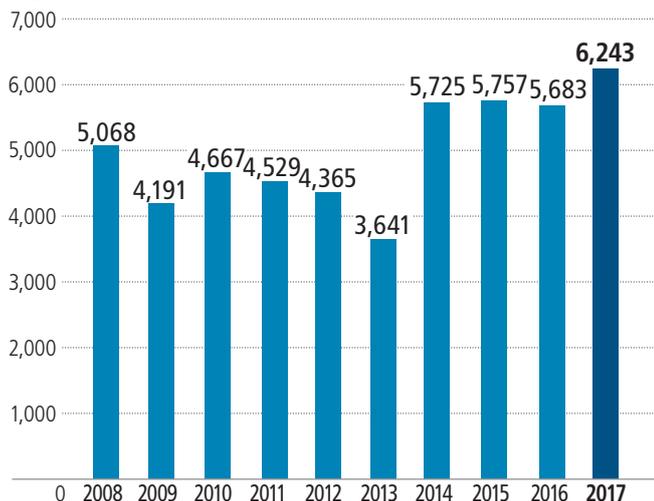


財務

収益性

連結売上高

単位：億円（四捨五入）

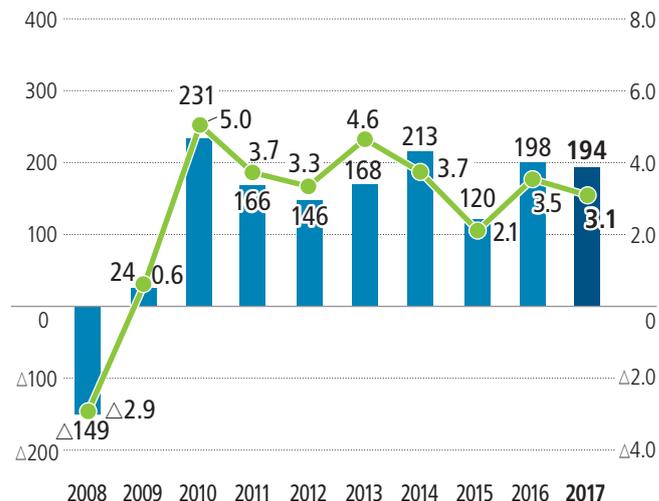


当社製品の販売価格は「地金価格+加工賃」に相当するため、売上高は地金市況の影響を受けます。2017年度は、販売数量が前年度を上回ったことに加え、地金価格が上昇した影響もあり、増収となりました。

連結経常利益／売上高経常利益率

単位：億円（四捨五入）

単位：%

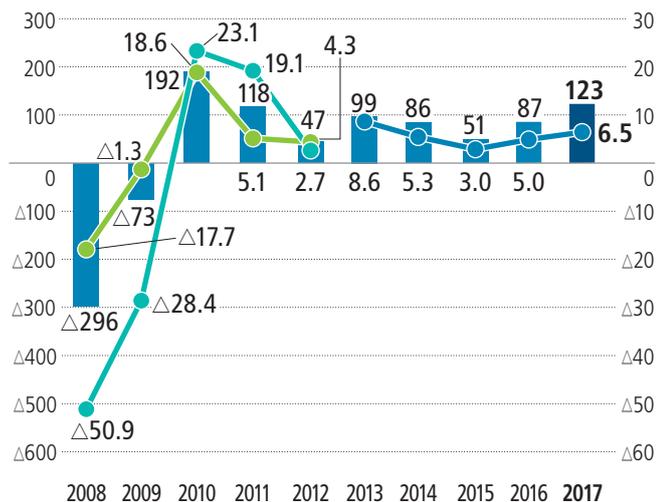


2017年度は、地金価格の上昇にともない棚卸評価関係が好転したものの、エネルギー価格の上昇に加え、米国での戦略投資の増加なども影響し、ほぼ前年度並みとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益／ROE

単位：億円（四捨五入）

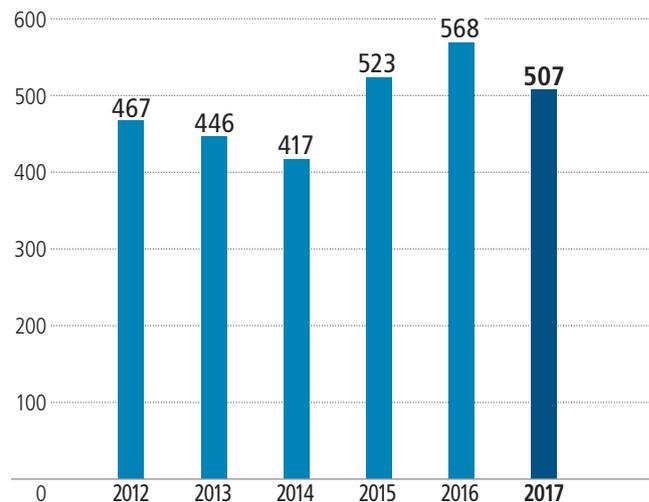
単位：%



2017年度は、米国における税制改革法の成立にともなう米国子会社での法人税額が減少したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益が大幅な増益となり、ROEも向上しました。

Adjusted EBITDA*

単位：億円（四捨五入）



Adjusted EBITDAは、EBITDAから地金価格の変動にともなう棚卸評価関係を控除したもので、実力ベースの収益性指標としています。2017年度は、エネルギー価格の上昇や、米国での戦略投資の増加などが影響し、減益となりました。

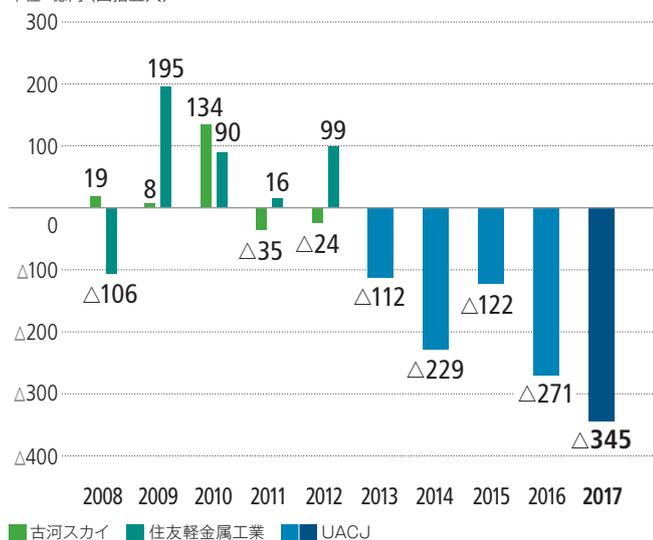
*Adjusted EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費-棚卸評価関係

注：4月1日から3月31日までの事業期間を年度として定めています。2017年度は、2018年3月末で終了した事業年度を表します。
2013年度より、期末日満期手形等の会計処理を変更しましたが、2012年度以前の主要な経営指標等については遡及処理前の数値を記載しています。
2012年度以前は旧古河スカイと旧住友軽金属工業の単純合計です。2013年度上半期は旧両社合算、下半期はUACJの業績数値を記載しています。

安全性・成長への投資

フリー・キャッシュ・フロー*

単位：億円（四捨五入）



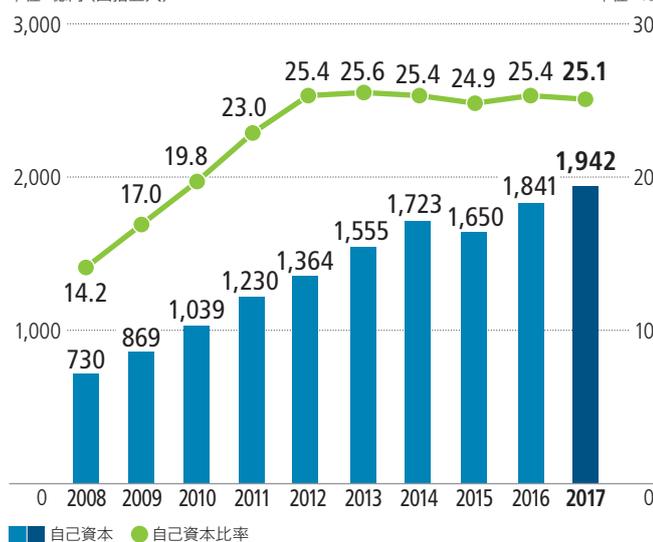
グローバルな規模での成長に向けた投資を継続しているため、フリー・キャッシュ・フローは2013年度からマイナスとなっています。今後は「戦略的な投資」と「財務の健全性」とのバランスに配慮しながら経営を推進していきます。

*フリー・キャッシュ・フロー＝営業キャッシュ・フロー＋投資キャッシュ・フロー

自己資本／自己資本比率

単位：億円（四捨五入）

単位：%

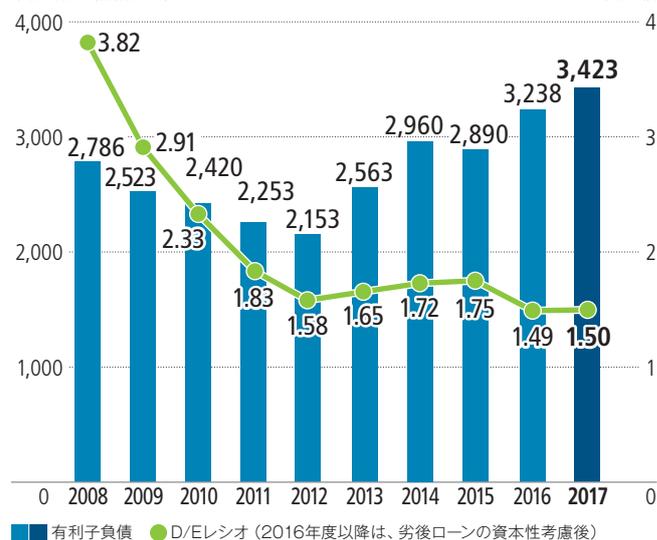


自己資本は、親会社株主に帰属する当期純利益の増加にともない増加しましたが、自己資本比率は有利子負債の増加もあり前年度からほぼ横ばいとなりました。

有利子負債／D/Eレシオ

単位：億円（四捨五入）

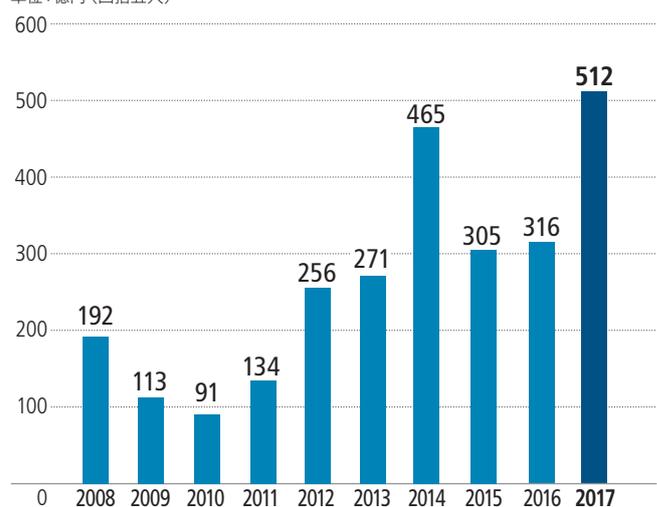
単位：倍



積極的な成長投資を継続しているため有利子負債は増加していますが、D/Eレシオは1.50倍と前年度からほぼ横ばいです。

設備投資

単位：億円（四捨五入）



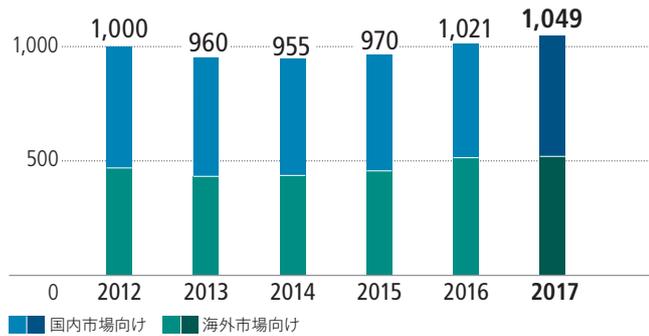
2017年度は、主に米国のローガン工場の鋳造・冷間圧延設備、およびタイのラヨン製造所の第3期投資を実施したことにより増加しました。

財務・非財務ハイライト

財務

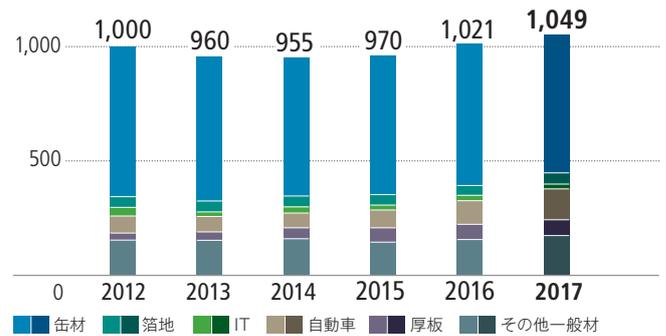
アルミニウム板 売上数量

単位：千t
1,500



アルミニウム板 品種別売上高数量

単位：千t
1,500



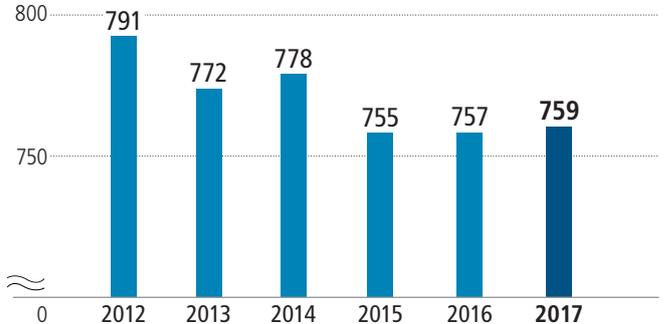
非財務

労働災害の発生状況



CO2排出量※

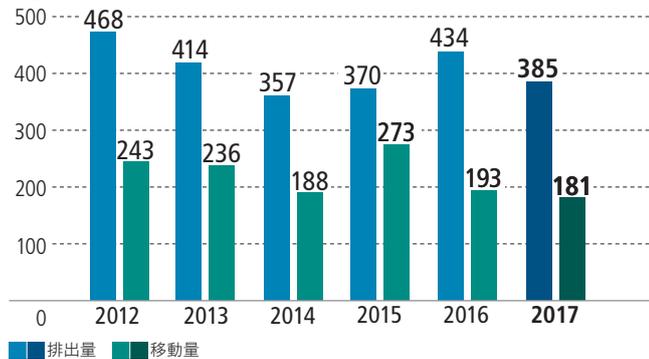
単位：千t-CO₂/年



PRTR物質の排出量、移動量※

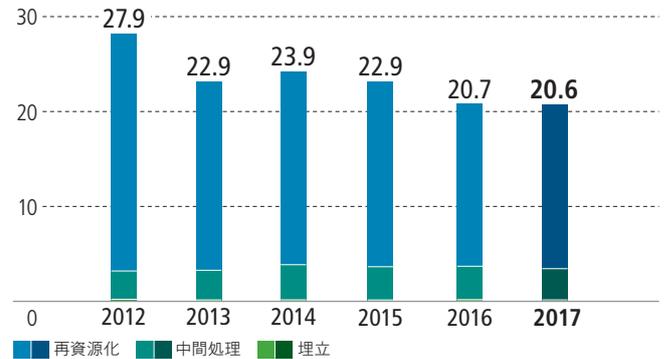
(製品中の含有元素であるマンガン、クロム、ニッケル、鉛を含む)

単位：t/年



産業廃棄物量※

単位：千t/年



注：4月1日から3月31日までの事業期間を年度として定めています。2017年度は、2018年3月末で終了した事業年度を表します。

2012年度の数値は旧古河スカイと旧住友軽金属工業の実績値を合算、2013年度上半期は日商社合算、下半期はUACJの業績数値を記載しています。

※ 集計範囲：UACJ(名古屋、福井、深谷、日光)、UACJカラーアルミ、UACJ押出加工名古屋(名古屋、安城)、UACJ押出加工小山、UACJ押出加工群馬、UACJ押出加工滋賀、UACJ鋳鍛、UACJ製箔(滋賀、野木、伊勢崎)、UACJ銅管

市場データ

世界の缶向けアルミニウム板需要



※ 2012年から2022年までの年平均成長率
出典：CRU Aluminium Rolled Products Market Outlook 2017 November Report

世界の輸送※1向けアルミニウム板需要



※1 自動車・航空機・船舶などの総称
※2 2012年から2022年までの年平均成長率
出典：CRU Aluminium Rolled Products Market Outlook 2017 November Report

日本国内のアルミニウム板需要



※ 2012年から2022年までの年平均成長率
出典：CRU Aluminium Rolled Products Market Outlook 2017 November Report

- 1 社会で活躍するUACJのアルミニウム
 - 1 輸送分野
 - 3 日用品分野
 - 5 産業社会分野
- 7 財務・非財務ハイライト
- 11 トップメッセージ
- 17 中期経営計画
- 21 投資家との対話
- 25 特集
 - “ものづくりカ”で
社会と環境に貢献
 - 27 ビジネスフロー
 - 29 北米
 - 31 アジア
 - 33 日本
- 35 At a Glance
- 37 事業別報告
- 39 ESG情報
 - 39 社外取締役対談
 - 43 環境への取り組み
 - 45 社会への取り組み
 - 47 コーポレート・ガバナンス
 - 51 役員一覧
- 54 財務・業績報告
 - 55 10年間データ
 - 57 財政状況および経営成績の分析
(連結ベース)
 - 61 連結財務諸表
- 65 会社情報／株式情報
- 67 FAQ (よくあるご質問)

UACJ Report 2018の位置づけ



「UACJ Report 2018」では、業績および営業概況、今後の戦略などの財務情報に加え、CSR活動などの非財務情報を総合的に報告した「統合レポート」として編集しています。編集にあたっては、国際統合報告評議会 (IIRC) が2013年12月に発表した「国際統合報告フレームワークver 1.0」などを参考にしました。また、ウェブサイトでは、IRサイト、CSRサイトにリンクさせ、詳細な情報を入手できるようにしています。

将来の見通しについて

当資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。